

■ご挨拶

理事就任のご挨拶

日本風力発電協会 理事 **島田和明**

イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社 代表取締役社長



はじめに

このたび、日本風力発電協会理事に就任いたしました島田でございます。どうぞよろしくお願いたします。環境部会の統括を担当していますが、春からスタートした環境アセスメント制度に関連する様々な運用指針の作成や施策の検討も進められており、環境部会の当面の活動もこれと直接的なかかわりが生じています。私自身はこれまで風力発電との関わりは薄かったため何かと皆様にご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、環境部会長はじめ部会の皆さんとともに、部活動を通じ我が国の風力発電の拡大と事業環境の整備等に貢献していきたいと考えますので、皆様のご協力ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

会社及び自己紹介

弊社は昨年創立 40 周年を迎えていますが、風力発電関係は 30 年前に風況調査事業を始めたのが嚆矢となっています。最近では協会と会員各社の皆さんと共同して環境省からの委託案件である「風力騒音回避・最小化風力開発調査」などにも参加しています。その他エネルギー関連では、太陽光、マイクロ水力、バイオ、スマートグリッド、地熱関係や地球温暖化関連案件等を手掛けています。また海外での非鉄金属鉱山、炭鉱、油田開発や LNG プロジェクト等大型資源開発プロジェクトや発電所、港湾等の社会インフラ整備案件に係る社会環境配慮審査や国内外での企業買収等に係るデューデリジェンス関連業務などを主業務としています。これまでに 60 ケ国以上の国にかかわる業務経験があり、海外対応力が強いことも弊社の特徴の一つになっています。

私自身はこれまでは、関連会社で主としてリサイクル・廃棄物関連業務に携わってきました。リサイクルでは、法律スキームのある自動車や家電関係に加え、貴金属、非鉄金属等も取扱い、中国等での海外ビジネス展開でもずいぶん汗をかきました。

最近思うこと

エジプトの政情が再度不安定になりました。アラブの春に連動した民主化運動に伴い昨年 5 月の選挙を経て樹立された政権が市民運動をきっかけに打倒されてしまいました。市民の不満と経済停滞の基本的な理由は、同国のエネルギー問題が底部にあるためであり、具体的には次のようなことだと理解しています。

エジプトは石油輸出とスエズ運河通航料によって経済が支えられ、これらの収入による補助金制度により、ガソリンやパン等の価格を安価に維持し国民の不満を抑えていました。しかし、石油生産はすでにピークを過ぎ、一方直近の 10 年間で 20% も増加した人口や生活水準の向上に伴い石油需要が急増し輸出余力が消滅。天然ガスの増産、風力発電導入等も進んでいますが、欧州の景気回復の兆しも見えず運河通行料も回復が見込めません。政権が交代しても従来のようなばらまきの継続は不可能。世界最大の小麦輸入国なのに小麦備蓄の枯渇は目前で不満のはげ口として社会対立が激化しそうです。インドネシアは石油に関して同様の事情であり、それに代わる石炭の大増産・輸出を実現しましたが変化に追いつけない状況です。

新興国では自国エネルギー資源により、先進国では国債の増発により、自国経済を支えているところが多いのですが、そうするとエネルギー資源＝国債ではないかと思えそうです。景気停滞と絶え間ない人口増加、生活水準向上要求にエネルギー制約と国債増発限界が眼前に屹立しているのが現代といえましょう。

突き詰めれば自前のエネルギーがなければ、国家も個人も存立困難であり、温暖化ガス削減効果云々もさることながら、原点に立ち返ってエネルギーの産出/投入比率の高い風力発電等国産エネルギー確保の重要性を再認識すべきです。加えて産出/投入比率は立地条件によって大きく影響を受けますので、環境側面のみならずこの面からの個別判断が重視されてしかるべきではないかと考えます。